

第6回荒川区地域公共交通会議

議 事 要 旨

日時：平成26年7月22日(月) 15:00～16:00

場所：サンパール荒川 4階 第1集会室

議事次第：

- 1 開会
- 2 「町屋さくら」(町屋04系統)の一部運用の変更について
- 3 その他
- 4 閉会

配布資料：

- ・次第
- ・資料1 「町屋さくら」(町屋04系統)の運行状況と一部運用の変更について
- ・資料2 「町屋さくら」(町屋04系統)の停留所候補地
- ・配布資料 第5回地域公共交通会議 議事録
- ・参考資料1 荒川区コミュニティバスルート図
- ・参考資料2 荒川区内バス等公共交通体系(現状)
- ・参考資料3 コミュニティバス乗車人員等各種データ(情報提示)

【議事要旨】

1 開会

- ・ 防災都市づくり部長より挨拶
- ・ 大森会長より挨拶

2 「町屋さくら」(町屋 04 系統)の一部運用の変更について

- ・ 事務局より内容の説明

< 会長 >

ご説明有難うございました。大変詳細なデータなど出して頂いたため、状況がすぐわかり易かったと思います。それでは、皆様から御意見頂きたいと思いますが、御意見、御質問等ございましたら、挙手にてお願いいたします。いかがでしょうか。

< 防災都市づくり部長 >

停留所 19 のところで折り返すような形だと思いましたが、折り返しのルートについて、事務局から詳細をご説明願いたい。

< 事務局 >

資料 1 をご覧ください。ルート上の青い点線部分が今予定している折り返し箇所でございます。こちらの花の木幼稚園の方に入っていく一方通行を通り、藍染川通りに入る一方通行を出てきたところの信号を左折し、元に戻るというようなルートです。現状幅員としまして、7mほどの幅員があり、一方通行ということで、車自体の通行は可能です。運行事業者の京成バスさんからも試験運行をして頂いた中では、自転車とのすれ違いが特に多いという話は聞いております。まだ正式な決定ではないですけれども、運行に際してはその辺を留意しながら運行事業者とは調整しているところでございます。

< 防災都市づくり部長 >

もう 1 点、現在のルートでは、1 番の新三河島駅で時間調整等を行っているかと思うんですが、この折り返しに関しては、どこで時間調整等をする予定かお示し願いたい。

< 事務局 >

折り返しの時間調整の場所については、子ども家庭支援センターの降車場で降ろしてから、回送ルートを通り、新設の乗車場に着く手前の京成電鉄の高架沿いを予定しています。今のところは一往復の時間帯でそんなに時間調整する時間が必要ではないという考え方もあり、この辺りは少し検討しております。10分、20分待つというような形では無いため、京成線沿いでの調整をしているところでございます。

< 福祉部長 >

関連ですが、子ども家庭支援センターは色々な事情がある方もいらっしゃいますので、出入りが見えるとあまり良くないとなった状況です。乗車場あたりでお客様が待たれていると少し心配な要素があると思われる。降車場が施設の目の前なので、影響が出るかどうかなど、センターの方と相談しておいた方がよろしいかと思う。

< 事務局 >

子ども家庭支援センターには早速相談させていただいております。基本的には尾竹橋通り沿いがメインの入口ということです。こちらについては自転車置き場からの入口ということで、特に出入りのために目に付くとかそういうことは無いと聞いております。調整はさせて頂いております。

< 会長 >

その他いかがでしょうか。

< 区民生活部長 >

停留所について、停留所の9～17までは、便数が増えると理解してよいのか。

< 事務局 >

その通りです。既存の町屋さくら自体は資料1の赤字で示すルートを時計回りで、車両2台で20分に1本の間隔で運行しています。今回の改善をすることによって、赤いルートについては1台で約30分につき1本の運行。青い部分についてはもう1台の車両を用い往復をするということで、8番から19番までについては逆方向が新たにできると、当該箇所における既存の順回りと同程度、または若干増えるよう調整させて頂いております。順回りの始発時間帯によっては多少の増減があるかと思っております。

< 会長 >

関連して、お聞きしますが、変更後は1台が赤い時計回りを30分に1本回らして、もう1本が8～19番を、これは何分くらいなんですか。

< 事務局 >

往復で約40分ぐらいを想定しています。今赤いところだけで時計回りで回しているだけですと、20分に1本ずつ入ってきていたものが30分に1本という形で、1便減ります。青いところについては、行って帰ってを繰り返しますので、8～19番のトータル的な本数は変わらないあるいはダイヤによっては増える状況となります。

< 大森 >

わかりました。それで前回は御質問あったかと思うんですが、朝から晩までの終日運行と

いうことでよろしいですか。

<事務局>

はい、終日運行です。

<総務企画部長>

例えば、まだコミバスに乗っていただいていない区民の方々の需要を喚起するとか、今は町屋の六丁目ですか、そちらの方とかで、乗ろうと思ってるけど乗れないし、普段もあんまり来ないから不便だから乗らないとか、そういうような効果というのはどのくらい期待できるか、この導入したあとの見込みというのはなにかあるのでしょうか。

<事務局>

昨年度の住民意識調査の中で、帰り便が無いからということで、敬遠している状況があります。帰り便があればもっと利用するというアンケート結果からは、そのようなデータが出ております。今回約40分に1本逆回り便が町屋六丁目に向けて走ることにより、帰りがあるため、順回り自体も利用客が増えるだろうという事と、当然逆回りがあるのでその分の人数が増えるということで、当初目標としております、一日平均900人と書いておりますけれども、一部路線変更ということで、目標に向けて1手打つことで次の展開を見ていきたいと考えております。

要はバスの台数を変えずに便数を増やすまたは維持することになりますので、そういった意味では多分な効果を期待できると思います。

<会長>

関連して、資料1のバス停の2番から7番までは減便ということですが、現状での需要はすごく少ないのですか。

<事務局>

ほぼ無いような状態です。参考資料3の裏面の図4をご覧いただきたいのですが、ご覧いただきますとおり、割合として非常に少ない状態です。このため、このエリアの方たちにも調査をかけまして、エリアの方たちが都電荒川線に乗られる方と都バスさんの方向に向かっている方がいらっしゃる。あと自転車利用者が非常に多いということで、やはり方向が合わないという状況です。したがって、このような状態で、逆回りを全体的に導入できれば良いんですけれども、そのためにはさらに初期投資がかかります。その前に一回ルートを改良することで、段階的措置をとっていくというような考え方を我々はとっております。できれば完全なる往復運行ができることが望ましいとは思っておりますが、そこまでは恐らくまだ定着するまでは至っていない状況かと思われれます。

< 会長 >

有難うございました。その他何か。

< 荒川やさしい街づくりの会・後藤 >

子ども家庭支援センターが降車場ということは、逆回りの最後のバス停で、乗車用が最初のバス停ということですか。

< 事務局 >

そうです。

< 会長 >

その他いかがでしょうか。

< 福祉部長 >

今の案では、通常ルートの方が30分に1本。それから今度折り返しの方が20分に1本。それに対して逆回りが40分に1本しか行かないということですね。そうすると片方が大体20分に1本来るのだけれども、帰りは半分になってしまう。40分に1本という頻度で十分ですか。行きぐらいの頻度があれば、20分に1本というようなオーダーであれば、より乗客も増えるように思えますが。

< 事務局 >

今の御質問につきましては、本来赤いルートを生かしつつ全体の逆回りというのがあれば運行自体はすごく良いのかもしれない。しかし、その分経費がかかるということと、意識調査の中でも、帰り便ということで、基本的には通勤時間帯、先程参考資料の3の裏面にもありましたとおり、朝の時間帯に多い、通勤時間帯に多いということがデータからわかってきております。その際、帰り便の利用については時刻表の通りコミュニティバスは運行しておりますので、その時間に合わせてご利用をいただくというのが考え方です。しかしながらご指摘の通り40分に1本ということで、頻度が少ないなというようなご意見は、恐らく運行が始まれば多数いただくのではと思っております。これが将来的にもう少しお客様が乗る頻度が増えてきますと、少しずつ定着してきて、その時点でまた車両台数を増やす等の検討していくことが必要であると考えております。

< 会長 >

その他いかがでしょうか。都の交通局さんから路線重複のお話などありましたら、何か御意見とかございませんでしょうか。

< 交通局 >

(意見なし)

< 荒川やさしい街づくりの会・後藤 >

バス停を見てますと、ほとんど歩道が無い箇所だと思われます。さくらと町屋さくらの町屋駅バス停については、都電の向こう側にありますが、今建設しているビルの完成に合わせて歩道が整備されるかどうかをお聞きしたい。

それと、歩道が無い箇所のバス停ですと、長いスロープ版が無くて短いスロープ版での対応となるため、後ろを運転手さんに抑えて頂いても転倒防止の車輪がガリガリと当たってしまう状況です。したがって、歩道部ではない停留所の状況について、このままなのか、その先々のことを伺いたいと思う。

< 事務局 >

既存の写真ではまだ停留所整備しておりませんので、ガードパイプ等無い場所が多くなっております。既存で運行しております町屋さくらの順ルートの停留所につきましては、乗りやすいように、マウントアップといひまして、歩道を乗り上げて停留所を整備して尚且つ誘導ブロックを配置しており、バリアフリー化を目指した停留所整備をしております。今回のルートにつきましても、その辺りを調整しながら整備していきたいという風に考えております。

< 会長 >

その他ありますでしょうか。特にないようですが、最後に確認ですけれども、バスが2台のままということで、運行の経費は今とほとんど変わらないと理解してよろしいですか。

< 事務局 >

徐々に検討し入れていく形にしていきたいと思っております。現在の状況では色んな懸念材料出てきておりますので、運行の状況、乗客の状況を見つつ、投資が出来そうという判断になれば、バスを一台追加するとか、そういった検討も必要と思います。それは、あとあとの地域公共交通会議の中で議論させて頂くような内容になってこようかと思っております。まずは運行改善を図って、より一層利便性が高いということをアピールしていくことが必要であるという考えに基づきまして、町屋さくらのピストン便開始を実現させて頂きたいと思っております。

< 会長 >

有難うございました。それでは御意見ないようですので、この一部運用の変更について、委員の皆様ご了承頂いたということで、お願いいたします。ありがとうございます。それでは、議事の次の(3)ですけれども、事務局から何かございますでしょうか。

< 事務局 >

今回色々お話しいただいた中で、停留所が確定していないところがいくつかございます。そちらについては今後、運行事業者、各関係機関と調整、協議を行ひまして、停留所を固め

ていきたいという風に考えております。特にその他としては今回ございません。

< 会長 >

ありがとうございました。他に何か委員の皆様から、発言し忘れたことなどありましたら、よろしいでしょうか。それでは議事の方はこちらで終わりにしたいと思いますので、皆さん、御協力ありがとうございました。では、マイクの方は事務局にお返しします。

4 閉会

< 事務局 >

次回等の日程について事務局からお知らせさせていただきます。本日の町屋さくらの一部逆回り運行の現在までの調整状況等を説明させていただきました。本日運行ルート及び運行改善等に関しまして皆様から概ねご了解をいただきました。今後は運行事業者や各関係機関等の調整、協議を行い、8月下旬頃までには最終的な停留所等も含めて、案をまとめていきたいと考えております。また、次回、この会議自体は、9月中旬から下旬を予定しております。運行開始前の詳細な情報と、次の検討課題でありますさくら逆回りルートの運行についてということで議題とさせて頂く予定でございます。日程につきましては、文書にてお知らせいたしますので、宜しくお願いいたします。今年度運行予定までのスケジュールが非常に立て込んでおりますが、皆様のご協力よろしくお願ひします。この会議は、国土交通省の地域公共交通会議設置及び運営に関するガイドラインにより、公開となっております。本日の会議の議事内容を当区ホームページ等で掲載させていただきますので、宜しくお願いいたします。それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様どうも有難うございました。

第6回荒川区地域公共交通会議 出欠状況一覧

委員名簿				出欠
学識経験者	会長	東京大学 大学院 工学系研究科 都市工学専攻准教授	大森 宣暁	出
関係行政機関	国	国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局 首席運輸企画専門官	関根 肇	欠席
道路管理者	東京都	東京都 建設局 第六建設事務所 管理課長	二瓶 国利	出
	荒川区	防災都市づくり部 施設管理課長	大木 浩	出
		防災都市づくり部 道路公園課長	川原 宏一	出
交通管理者	警視庁	警視庁 交通部 交通規制課 課長代理	渋谷 泰明	代理
		警視庁 荒川警察署 交通課長	蛭坂 隆	出
		警視庁 尾久警察署 交通課長	木下 定雄	出
		警視庁 南千住警察署 交通課長	永田 和美	出
運送事業者団体	事業者	一般社団法人 東京バス協会 常務理事	二井田 春喜	出
		一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 専務理事	藤崎 幸郎	代理
一般乗合旅客自動車運送事業者		東京都 交通局 自動車部 計画課長	眞子 武久	出
一般乗用旅客自動車運送事業者		京成バス(株)取締役	木下 良紀	出
		一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 荒川区内事業者代表 (大日本自動車交通株式会社代表取締役社長)	海田 正則	欠
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体		東京都交通運輸産業労働組合協議会 バス部会事務長 (東京交通労働組合自動車部長)	福田 智	欠
区 民	町会	荒川区町会連合会 会長	木内 輝男	欠
	団体	NPO法人荒川区高年者クラブ連合会副理事長	長谷川 敏男	出
		荒川やさしい街づくりの会代表	後藤 俊子	出
行政執行機関	荒川区	総務企画部長	北川 嘉昭	出
		区民生活部長	高岡 芳行	出
		福祉部長	谷嶋 弘	出
		防災都市づくり部長	松土 民雄	出
		防災都市づくり部参事 都市計画課長	松崎 保昌	出
事務局	荒川区	防災都市づくり部都市計画課長	平野 興一	
		防災都市づくり部都市計画課施設設計画担当係長	白井 巧	
		防災都市づくり部都市計画課施設設計画担当	長野 博一	
		防災都市づくり部都市計画課施設設計画担当	小山 丈晴	